

国際渡航ワクチン外来

<各種予防接種に関する説明書>

海外へ渡航する際には、日本では見られなくなったような感染症や、渡航先に特有の感染症に注意をする必要があります。様々な感染症では命に関わるものや、重篤な後遺症をのこすもの、慢性化して日常生活に支障をきたし得るものなどがありますが、そうした感染症の中には予防接種で予防可能なものがあります。各渡航先に応じて推奨されるワクチンの種類はある程度決まっていますが、同じ渡航先であっても、活動内容や時間帯、滞在場所や滞在期間などを考慮して、各渡航者に適した接種すべきワクチンの選定を行うことが大切です。また、現地の受け入れ先（企業、教育機関など）から独自に必要と指定されるワクチンがある場合もあります。

国際渡航ワクチン外来では、各受診者の渡航状況および希望内容に沿って、接種すべきワクチンを柔軟に選定し、必要に応じて複数種類のワクチンの同時接種を行っております。なお、接種するワクチンの内容は、受診当日の相談状況によって変更する可能性もあります。

1. 当院で使用するワクチン

(1) 国内承認ワクチン

a. 不活化ワクチン（筋肉注射、皮下注射）

- A 型肝炎 B 型肝炎 破傷風 日本脳炎 狂犬病
- DTP-IPV（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ4種混合）
- 4 価髄膜炎菌（血清群 A,C,Y,W-135） DT（ジフテリア・破傷風）
- DTP（ジフテリア・破傷風・百日咳） インフルエンザウイルス
- 肺炎球菌 インフルエンザ菌タイプ b

b. 生ワクチン（皮下注射）

- 麻しん・風しん混合 麻しん 風しん 水痘 おたふくかぜ
- ロタウイルス（内服）

(2) 国内未承認ワクチン

a. 不活化ワクチン（筋肉注射）

- 腸チフス：TyphimVi[®], Sanofi-Pasteur
- A 型肝炎 16 歳以上：HAVRIX Adult, GSK
- A 型肝炎 2～15 歳：HAVRIX Junior, GSK
- Tdap（破傷風、ジフテリア、百日咳）：BOOSTRIX, GSK
- 狂犬病：VERORAB, Sanofi-Pasteur (PVRV)
- 髄膜炎菌性髄膜炎血清群 B 型：BEXSERO, GSK
- ダニ媒介性脳炎 16 歳以上：FSME-IMMUN Adult, Baxter
- ダニ媒介性脳炎 16 歳未満：FSME-IMMUN Child, Baxter

b. 生ワクチン（皮下注射）

- 麻しん・風しん・おたふくかぜ混合：PRIORIX, GSK

2. ワクチン投与方法、接種後の免疫効果

筋肉注射、皮下注射の接種部位は一般的に上腕三角筋部、上腕外側部です。接種後およそ10日から2週間で免疫効果が現れますが、幼小児の場合はもう少し長くかかる場合もあります。

妊娠可能時期の女性で生ワクチンを接種する場合は、接種後2か月間の避妊が必要です。また、授乳中の場合も生ワクチン接種後は2か月間の授乳を避けて下さい。

3. 副反応（詳しくは各種ワクチンの副反応表をご覧ください）

- ・局所反応：接種部位の腫脹、発赤、腫脹、硬結など
- ・全身反応：発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛など

<重篤な副反応=アナフィラキシー>

まれに、じんま疹、血圧低下、口唇浮腫、喘鳴、呼吸困難、けいれんなど緊急処置を要する状態が発生することがあります。その場合は当院にて迅速な医学的対応を行います。

4. 国内未承認ワクチンに関する補償制度について

国内未承認ワクチンを接種して発生した健康被害に対しては、わが国の予防接種法による救済制度の対象外となります。従いまして、国内未承認ワクチンを接種したことによって発生した健康被害に対しては、国内未承認ワクチン輸入を行う会社による独自の補償制度が設けられています。

ご質問、ご不明な点がございましたら、何でも結構ですので当院国際渡航ワクチン外来までお尋ねください。